



文武両輪

～勉強も行事も部活動も～

令和5年 6月26日

【文責】校長 鳶川 誠

市中体夏季大会を終えて

選手の皆さん、3日間にわたる試合や競技への参加、本当にお疲れさまでした。

見事に勝ち抜いて県大会出場を果たした皆さん、おめでとうございます。今度は八戸市の代表となります。県大会での更なる活躍を期待しています。

今大会では、サッカー部と男子剣道部の優勝、女子陸上部の総合優勝、その他にも個人での優勝がいくつもあって、ここ数年にないすばらしい成績を収めました。本校では夏季大会において今までも個人競技の優勝や団体第2位や第3位はいくつもありましたが、11年前の女子剣道部の優勝を最後に約10年もの間、夏季大会での団体優勝からは遠ざかっていました。それが今回の夏季大会で、一挙に3つの団体優勝を獲得したことはまさに歴史的な快挙です。長者中の歴史に輝かしい足跡を残すことができました。特にサッカー部は長い歴史の中で、夏季大会初優勝を成し遂げました。

また、残念ながら敗退した部もそれぞれ、もてる力を十分に出し切ってきたものと思います。

それでは、皆さんに伝えたいこととお話します。

まずは、3年生の選手の皆さんに2つ。

1つ目は、「今までのことを振り返ってみること」です。

今回、残念ながら目標を達成することができずに負けてしまった、入賞できなかったという人も、気を落とすことはありません。それは、最後まであきらめずに戦い、もてる力を出し切ることができたからです。3年生は1、2年の時に苦しく辛い練習を乗り越えてきたことで、心身ともに一回りも二回りも大きく成長したはずで、3年間の部活動を通して、自分はどんな面で成長することができたかを振り返って見てください。成長できたことは、今後の生活において大きな自信につながっていくはずで、

2つ目は、「支えてくれた人に感謝すること」です。

今まで、皆さんのことを温かく時には厳しく指導してくれた、顧問の先生、コーチの方にしっかりと感謝の気持ちを伝えてください。一緒に戦ったり応援したりしてくれた、後輩たちにも感謝の気持ちを伝えてください。そして、一番身近で一番応援してくれた、お父さんやお母さんなどの家族には「ありがとう」という言葉を伝えてください。きっと、皆さんの成長をととても喜んでくれることと思います。

1、2年生の皆さんは、3年生の先輩たちの戦いぶりをしっかりと目に焼き付けてきたことと思います。先輩たちの喜ぶ姿だけでなく、涙を流す姿を見た人もいたと思います。そこで感じ取った先輩たちの思いをしっかりと受け止め、今後の活動に生かしてほしいと思います。特に2年生は、1年後にどんな形で終わりたいのかをしっかりと考え、これから1年「覚悟」を決めて、全力で取り組んでください。

最後に、応援生の皆さんにお話します。

皆さんは、大会前からしっかりと準備して、大きな声や力強い演奏で壮行式や本番の応援を全力で盛り上げてくれました。皆さんの応援は、選手の心にしっかりと届いて、勇気づけ後押ししてくれました。特に決勝戦でのスタジアム一杯に響き渡った応援は印象的でした。魂のこもった応援、とてもすばらしかったです。ありがとうございました。
(夏季大会結果報告会の講話から)

各部の部長の「振り返り」を紹介します。

陸上競技部 部長 和山 龍青

陸上競技部のよいところは仲間を思いやることができることです。今大会でも、仲間が走っているときは、多くの人がゴール地点で一生懸命に応援していました。ただ、招集時間に遅れそうになった時もあったので、県大会では時間を見て行動していきたいです。

野球部 部長 庭野 大馳

夏季大会では、周りへの声かけを頑張りました。吹奏楽部の応援も再開されたので、声が通らずにいつもどおりプレーするのが大変でした。結果は2回戦で第一中に0-3で負けてしまいました。部活動を通じて、仲間を信頼することの大切さを学ぶことができました。

サッカー部 部長 佐々木 權

サッカー部全員で辛い練習を乗り越えてきたからこそ、優勝した時の達成感はずごかったです。次は県大会を勝ち抜いて東北大会に出場したいです。部長としてこのチームを引っ張るのは苦労が多かったのですが、言葉ではなく全力の行動が人を動かすということを知りました。試合中は皆さんの全力の応援によって、何度も頑張ろうと思えることができました。これからも学校生活一つ一つに全力で取り組みたいです。応援ありがとうございました。

柔道部 部長 中野 果凜

夏季大会は、今までのどの大会よりも全力で取り組むことができた大会でした。柔道部全員が、元気に出場することができてよかったです。夏季大会での頑張りを今後の生活に生かしていきたいです。応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

剣道部 部長 田端 龍真

男子団体が優勝、女子団体が第3位でした。今回の大会で学んだことは、戦う前から相手に気持ちで負けないということです。県大会では、どんな強い相手にも気持ちで負けないということを心がけて戦ってきます。応援ありがとうございました。

男子バスケットボール部 部長 坂本 類

本番では、絶対に勝つという強い気持ちで最後まで諦めずにやり遂げることを意識し、仲間と声をかけ合い一丸となって戦いました。最高の舞台で戦うことができて、今までで一番楽しい試合でした。応援ありがとうございました。

女子バスケットボール部 部長 工藤 結有

1回戦で東中に41-67で負けてしまいました。最初は思うようなプレーができずに、相手にリードされましたが、それでも時間の経過とともに声をかけ合ってボールにくらいついて、点差を縮めることができました。悔しい気持ちはありますが、このメンバーで挑めたことが楽しく心に残っています。たくさんの応援、ありがとうございました。

バレーボール部 部長 米田 絢香

今回の大会ではイージーミスがほとんどなく、みんなで協力してボールをつなぐことができました。特にチーム全体で頑張ったことは声かけです。残念ながら1回戦で東中に0-2で負けてしまいました。この悔しい気持ちをバレーボール部全員で、これから乗り越えていきたいと思えます。応援ありがとうございました。

卓球部 部長 南 悠斗

夏季大会で学んだことは、「準備」の大切さです。壮行式や決起集会は勢いをつける「準備」、日々の練習は本番で力を出し切ってベストを尽くすための「準備」です。日常生活の食事や睡眠なども「準備」に当たります。これからの生活でも「準備」を大切にしていきます。

吹奏楽部 部長 越後 風香

野球競技の応援では、普段の挨拶運動や階段清掃や雪かきなどの様々な奉仕活動に取り組んでくれている野球部への感謝の気持ちをしっかりと込め、演奏と応援をすることができました。夏季大会を通じて、全力を尽くすことの大切さや、普段できていることでも状況によってはできなくなることが分かりました。選手の皆さん、お疲れさまでした。

総合文化部 部長 山本 穂花

夏季大会で頑張ったことは、声を最後まで出し続けることです。初日は少し戸惑っていましたが、3年生全員で協力してしだいに大きな声で応援することができるようになりました。夏季大会で学んだことは「努力は裏切らない」ということです。コロナ禍のために、3年生が1、2年生の時は声を出しての応援はできませんでしたが、伝統を守り伝えるために応援の型は一生懸命に練習してきました。今回の応援では、今まで練習してきたことが大いに役立ってとてもよい応援をすることができました。選手に皆さん、お疲れさまでした。

(一部抜粋・修正は筆者)

